

5月9日(土) 瀬戸山城跡



新緑に囲まれて 地元の山ハイキング!

地元の歴史を学びながら交流を深めることを目的に、赤名公民館主催の「地元の山ハイキング」が開催され、約30人が参加しました。

戦国時代、尼子氏本城・月山富田城(安来市)を防衛する重要拠点と位置づけられていた瀬戸山城。地元の歴史に詳しい住民らがガイドとなり、現在も残る石垣や土塁の跡などを観察しながらハイキングを楽しみました。



ギンリョウソウなど春の草花も楽しみながら山頂を目指しました

5月3日(日) 獅子地区



初めての田植えに挑戦 獅子地区田舎体験

島根大学生物資源科学部の学生と獅子地区の住民が、田植え作業を通して交流しました。

今年で11年目となる田舎体験。参加した学生等15人は、順番に田植機の運転を体験。初めての作業に歓声が上がりました。

10月には同地区での稲刈りも予定。学生たちは実りの秋を今から楽しみにしていました。



慎重に田植機を運転する学生

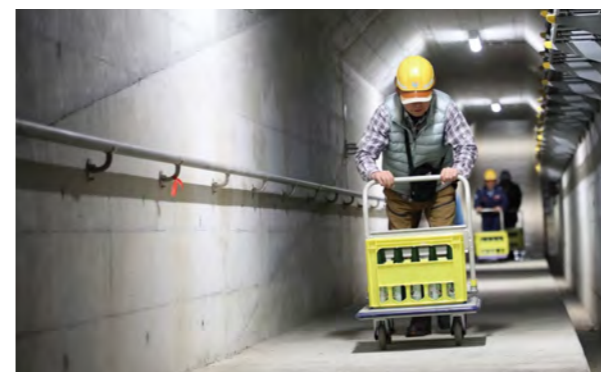
4月24日(金) 志津見ダム



普段は立ち入ることのできないダム内部へ 志津見ダム貯蔵酒搬入

志津見ダムと周辺の地域資源を知ってもらうことを目的に、「志々を元気にする会」の企画でダム貯蔵酒が志津見ダムへ搬入されました。

ダム内の温度は平均11度。日本酒の低温熟成に適していることから、平成27年度から日本酒を貯蔵しています。今年度は、ダム貯蔵酒(日本酒)約700本を搬入しました。



地域住民など約30人が搬入作業を行いました

4月19日(日) 寺沢地区



地域の魅力を歩いて巡る 春のウォーキング大会

頓原公民館主催の「春のウォーキング大会」が開催されました。毎年恒例のウォーキング企画。今年は寺沢地区の約5.3キロメートルを、ノルディックポールを使用して散策しました。

コースの途中では、地域の歴史に詳しい柳原陽二さん(寺沢)からお話を聞いたり、植物を観察したりしながら春の散策を楽しみました。



普段歩かない道から見る景色は新鮮

5月上旬～5月10日(日) ぼたん園及び役場職員駐車場周辺



絢爛豪華に咲き誇る 第51回飯南町ぼたんまつり

5月上旬から色鮮やかなボタンが咲き始め、赤名観光ぼたん園周辺では「ぼたんまつり」が開催されました。

10日のメインイベント日には、よさこいや神楽の公演があり、会場周辺は多くの来場者で賑わいました。

赤名観光ぼたん園では130品種2万5千本を超えるボタンを栽培。来場者は色鮮やかに咲き誇る大輪のボタンを楽しんでいました。



満開のボタンを楽しむ大勢の来場者



よさこいで盛り上がる会場

4月26日(日) 野萱地区



おいしいタケノコを探せ タケノコ掘り

来島公民館主催の「タケノコ掘り」が開催され、小学生や飯南高校生など約20人が参加しました。

土から顔を出したタケノコを見つけると、歓声を上げる子ども達。慣れない鍬の扱いに苦戦しながらも、力いっぱいタケノコを掘り起こしていました。

下山後はタケノコご飯と山菜の天ぷらで昼食。春の味覚を味わいながら、交流を楽しみました。



力を合わせて掘り出しました

4月26日(日) 谷笑楽校



ちいさい春みつけた 自然と遊ぼう!春の植物観察

ウォーキングしながら自然を五感で味わう植物観察会が、谷公民館主催で開催されました。

谷笑楽校から谷八幡宮の間を歩き、ガイドの荻野英明さん(井戸谷)の案内で、春に咲く花や植物などを観察。毒があって注意が必要な草花などを学びました。散策後は、タラの芽の炊き込みご飯など山菜料理を堪能し、春を存分に味わう会になりました。



植物の名称などをクイズ形式で学びました